

第2回協議会でいただいたご意見について (抜粋)

2024.1.31

第3回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

第2回協議会でいただいた主なご意見と取り組み

1. 児童生徒の情報活用能力育成に関すること

(1) 1人1台端末の活用推進

【第2回協議会でのご意見】

- ・ クラウドサービスの利用状況等により、機械的に活用の変化を把握ができないか検討すること。
- ・ 中学校教員の活用率について、「端末の活用が1日1～2回」の状況をグラフ化してみることに。

【進捗・対応状況】

- ・ これまでの教員アンケートに加え、Classroom等のアクティブ数やアプリケーションの活用率、クラウド上のファイル数を中心に、活用状況の変化の把握を検討しております。
- ・ 「端末活用が1日1～2回」について、小中学校別、教科別でグラフ化しました。(資料有)

(2) 情報モラル、情報セキュリティ教育の推進

【第2回協議会でのご意見】

- ・ ICTを阻害しない形で、情報モラル教育、情報セキュリティ教育を見直すこと。

【進捗・対応状況】

- ・ 情報管理に関するルールは適時見直すとともに、デジタル化社会における情報モラル教育のあり方について、次年度の教育センターにおける研究テーマの一つとする予定です。

第2回協議会でいただいた主なご意見と取り組み

(3)プログラミング教育・STEAM教育の推進

【第2回協議会でのご意見】

- プログラミング教育は、小学校から中学校、中学校から高校でギャップがあり、小学校での学習が無駄にならないような改善が必要である。

【進捗・対応状況】

- 小中学校9年間を通じた体系的なプログラムについて、先進事例を参考に令和6年度より小学校1校、中学校1校での実証に取り組みます。

(4)高校における取組の推進

【第2回協議会でのご意見】

- 県立高校における事例なども参考に、市立高校に対する取り組みを推進すること。

【進捗・対応状況】

- 県立高校の状況等を把握するとともに、各高校の特色を踏まえた指標等設定や環境整備を行うことで、高校のICT教育を推進します。

第2回協議会でいただいた主なご意見と取り組み

2. 学校情報化の推進に関すること

(1) 校務DXの推進

【第2回協議会でのご意見】

- 校務DXの他校展開・標準化、文科省校務DXへの対応ロードマップが必要である。
- 意図的に親子で活用してみる機会をつくると理解はすすむのではないか。
- 保護者アンケート等において、教育委員会から持ち帰りによる端末活用を指示すると学校でも対応しやすい。

【進捗・対応状況】

- 既存の「働き方改革取組方針」などの取り組みや教育センターにおける研究成果を踏まえながら、本市における学校教育情報化の現状や将来的なロードマップを整理していきます。
- 保護者連絡等においても端末の活用を推奨するよう、局内共通の取組として推進していきます。

第2回協議会でいただいた主なご意見と取り組み

週端末活用率から算出される活用頻度ごとの教員数の割合 (令和5年9月)

